



いのちとくらしをまもる
防災減災

令和2年9月1日
広島地方気象台

令和2年の中国地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の特徴について

◎中国地方の梅雨の時期(6~7月)の特徴

梅雨入りは6月10日ごろで平年より遅くなりました。梅雨明けは7月31日ごろで平年よりかなり遅く、1951年の統計開始以降遅いほうからの3位タイとなりました(最も遅い梅雨明けは8月3日:1998年)。

梅雨の時期の降水量は、中国地方平均で平年よりかなり多くなりました(山陽では平年より多い~かなり多く、山陰ではかなり多くなりました)。

6月上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、6月中旬以降7月にかけては、低気圧や梅雨前線及び湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。6月中旬と7月中旬から下旬にかけては梅雨前線の活動が活発となったため大雨となった日がありました。

7月の日照時間はかなり少なく、中国地方の統計のある1946年以降で少ない方からの1位タイとなりました。

気象庁では7月3日から31日の豪雨に対して「令和2年7月豪雨」と名称を定めました。

令和2年の梅雨の時期(6~7月)の
降水量と平年比

地点名	観測値 (mm)	平年値 (mm)	平年比(%) (階級)
広島	1123.5	505.6	222(++)
呉	744.0	454.3	164(++)
福山	562.0	352.0	160(++)
岡山	501.0	332.4	151(+)
津山	642.0	443.3	145(++)
松江	739.5	442.2	167(++)
西郷	580.5	391.4	148(++)
浜田	866.5	473.8	183(++)
鳥取	560.5	353.0	159(++)
米子	688.0	421.2	163(++)
境	736.0	414.2	178(++)
中国地方			167(++)

階級は(=):かなり少ない、(-):少ない、(O):平年並
(+):多い、(++):かなり多い、を示しています。

【梅雨入り】

6月10日ごろ(当初発表も6月10日ごろ)
「遅い」

- ・平年(6月7日ごろ)より3日遅い
- ・昨年(6月26日ごろ)より16日遅い

【梅雨明け】

7月31日ごろ(当初発表は7月30日ごろ)
「かなり遅い」

- ・平年(7月21日ごろ)より10日遅い
- ・昨年(7月25日ごろ)より6日遅い

気象庁が梅雨時期に行う梅雨の入り・明けの発表は、当日までの天候経過と向こう1週間の天気予測に基づくものです。気象庁では、毎年、梅雨時期の終了後に、実際の天候経過に基づいて事後検討を行い、各地の梅雨期間(入り・明け)の確定、及び梅雨時期の特徴についてまとめを行っています。

別紙1は中国地方における降水量の分布図、別紙2は広島県内各地の降水量と平年比(表)です。

別紙3と別紙4は参考資料で、今年の梅雨入りから梅雨明けの前日までの期間の降水量分布図と降水量表です。

(注1) 今年の日付は事後検討により確定したものです。梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「* * *日ごろ」と表現しています。

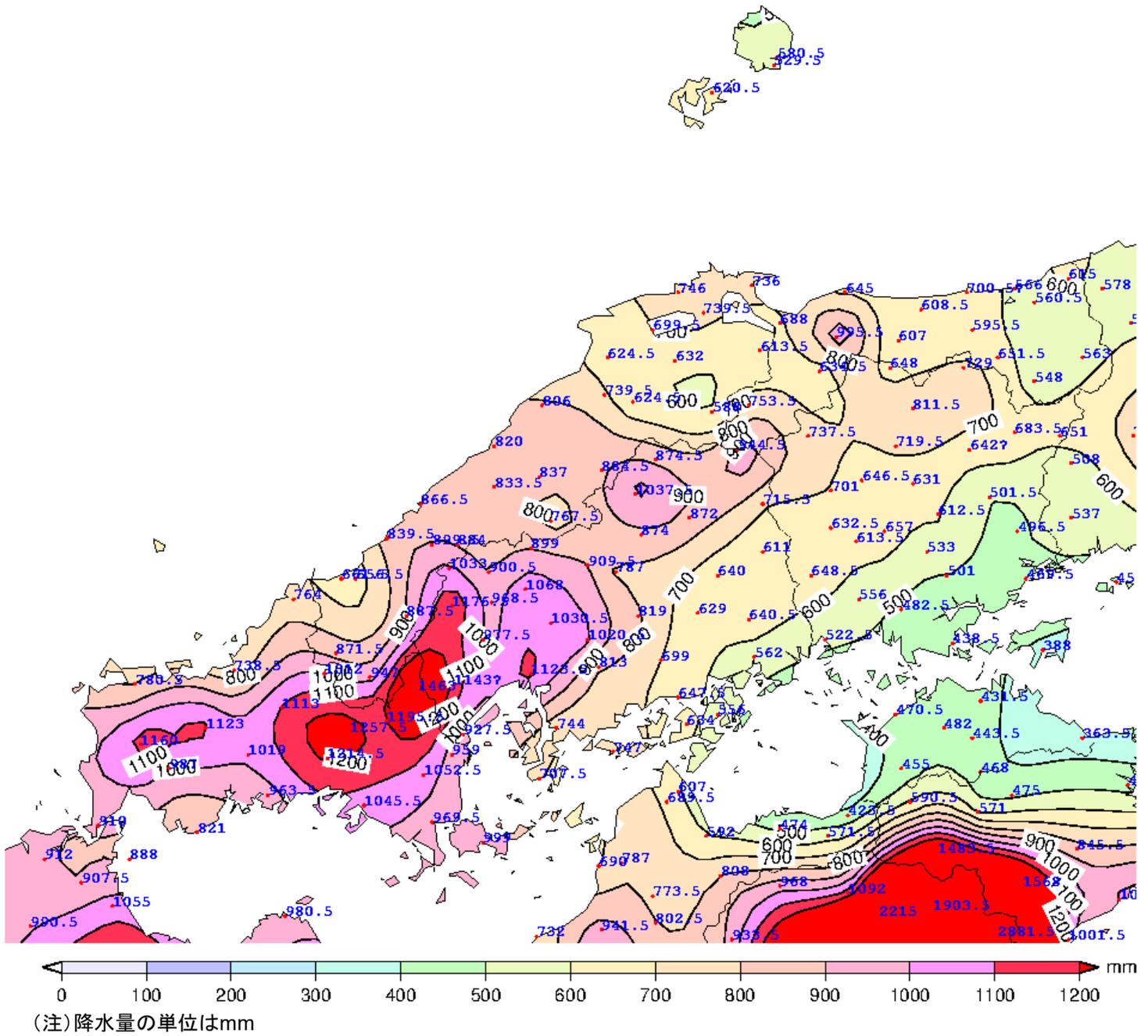
(注2) 梅雨の期間は年によって入り、明けの日が異なり、長い期間もあれば短い期間もあります。このため梅雨の降水量を比較する場合には梅雨の時期とした6~7月(沖縄、奄美は5~6月)の降水量を用いています。

(注3) 中国地方の梅雨入り、梅雨明けの対象は山口県を除く中国地方(広島県・岡山県・島根県・鳥取県)としています。

問合せ先: 広島地方気象台 担当 日野、部田
電話082-223-3951 FAX 082-223-3943

令和2年の梅雨の時期(6~7月)の中国地方の降水量分布図

AMeDAS Precipitation [mm] : 2020/6/1 1h - 2020/7/31 24h



令和2年の梅雨の時期(6～7月)の広島県内各地の降水量と平年比

気象官署及び特別地域気象観測所

地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)
広島	1123.5	505.6	222
呉	744.0	454.3	164
福山	562.0	352.0	160

地域気象観測所

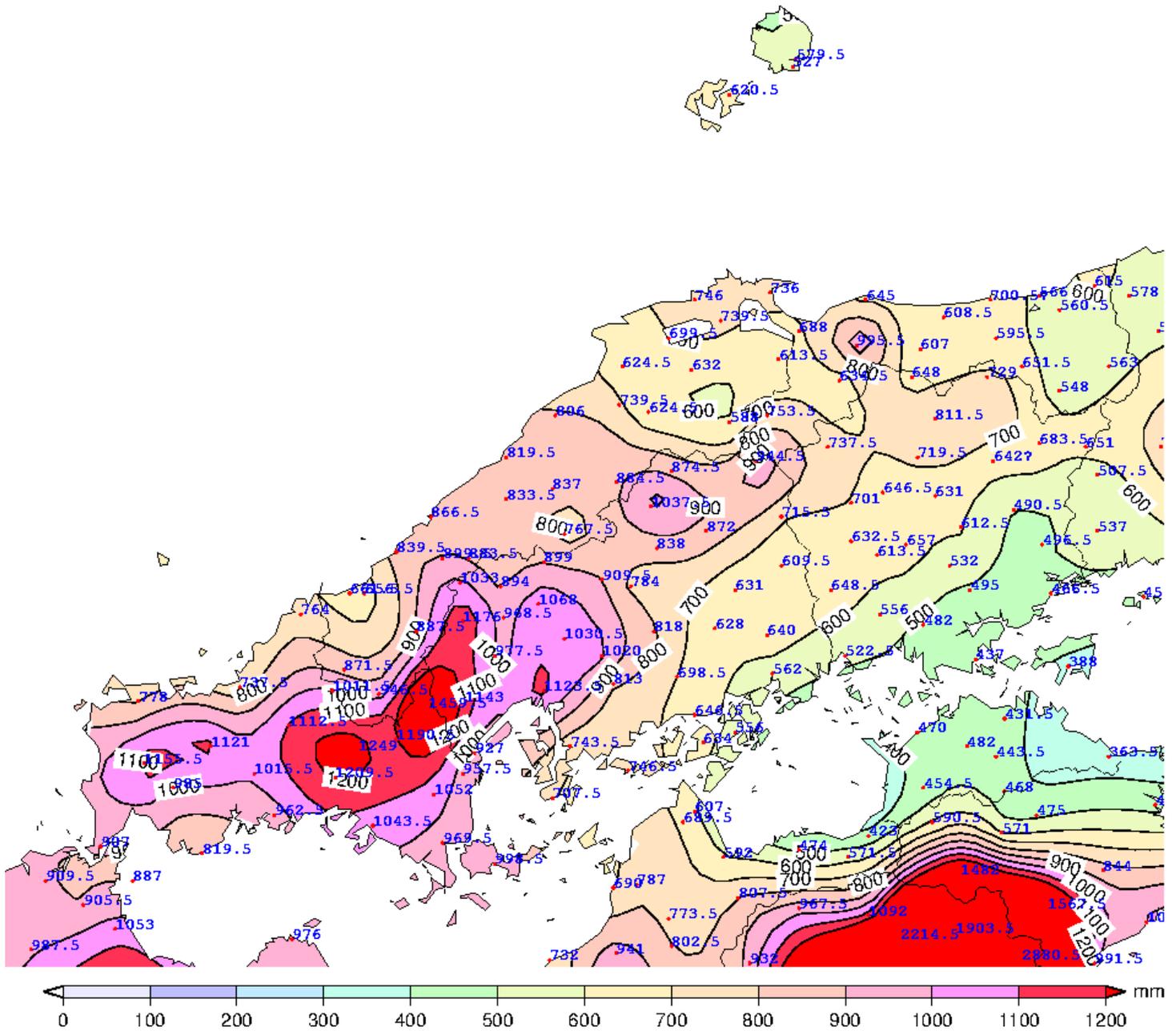
地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)	地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)
高野	874.5	529.4	165	内黒山	1176.5	580.8	203
道後山	944.5	//	//	三入	1030.5	548.1	188
君田	1037.5	//	//	安宿	819.0	//	//
三次	874.0	469.3	186	世羅	629.0	406.4	155
庄原	872.0	451.9	193	府中	640.5	389.4	164
東城	715.5	472.8	151	佐伯湯来	977.5	//	//
八幡	1033.0	640.6	161	志和	1020.5	505.6	202
大朝	899.0	513.0	175	東広島	813.0	456.5	178
美土里	909.5	//	//	本郷	699.0	406.8	172
油木	611.0	433.5	141	廿日市津田	1143.0	617.7	185
王泊	900.5	539.7	167	竹原	647.5	378.8	171
加計	968.5	548.8	176	生口島	556.0	318.3	175
都志見	1068.0	//	//	大竹	927.5	538.4	172
甲田	787.0	475.7	165	倉橋	707.5	431.6	164
上下	640.0	432.8	148	呉市蒲刈	747.0	//	//

(注)「//」は、観測所の移転等により算出できません。

地域気象観測所の平年値は6月と7月の平年値を合計して求めたもので、この値により平年比を算出しています。

令和2年の梅雨入り(6/10)から梅雨明けの前日(7/30)までの 中国地方の降水量分布図

AMeDAS Precipitation [mm] : 2020/6/10 1h - 2020/7/30 24h



(注)降水量の単位はmm

令和2年の梅雨入り(6/10)から梅雨明けの前日(7/30)までの
広島県内各地の降水量

気象官署及び特別地域気象観測所

地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)
広島	1123.5	462.0
呉	743.5	413.1
福山	562.0	321.8

地域気象観測所

地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)	地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)
高野	874.5	492.0	内黒山	1176.0	557.7
道後山	944.5	//	三入	1030.5	502.3
君田	1037.5	//	安宿	818.0	//
三次	838.0	433.0	世羅	628.0	369.1
庄原	872.0	415.3	府中	640.0	351.3
東城	715.5	432.4	佐伯湯来	977.5	//
八幡	1033.0	594.8	志和	1020.0	462.4
大朝	899.0	469.9	東広島	813.0	417.2
美土里	909.5	//	本郷	698.5	387.7
油木	609.5	396.1	廿日市津田	1143.0	558.8
王泊	894.0	494.5	竹原	646.5	345.9
加計	968.5	501.5	生口島	556.0	290.4
都志見	1068.0	//	大竹	927.0	489.6
甲田	784.0	437.8	倉橋	707.5	390.2
上下	631.0	397.5	呉市蒲刈	746.5	//

)を付加した値は、欠測等を含みます